

→ UO スキル / 調教使役

PDFJ::Text=HASH(0xb7afb808) 動物学 (ロア)

- ・ 非難易度制
- ・ スキル遅延 1 秒
- ・ プライマリスステータス：INT
- ・ セカンダリスステータス：STR
- ・ 教えてくれる NPC：Animaltrainer、Beekeeper、Furtrader、Gypsy Animal Herder、Rancher、Ranger Guildmaster、Vet

" ロア " と呼ばれることが多いですね。

動物に関する知識ということで、テイマーに関わるスキル全般で使用されるスキルです。スキルの直接使用でクリーチャーのステータスを詳しく調べることも可能です。

非難易度制な上に「調教」「獣医学」の2次スキルでもあるため、テイマー修行をしていれば必然的に上がっていきます。というか、他の2つよりも速く上がっていくはずです。テイマーがスキルを絞る場合でも、このスキルを削ることは考えられないと思います。

またテイマー関連のスキルは、厩舎に預けられる上限を決めるのにも使われます。決め方はを御覧下さい。

スキルを直接使用することでタゲったクリーチャーのステータスを調べられます。GM 未満の場合は既にテイム済みのペットだけが調査対象ですが、GM になったらテイム可能なクリーチャーなら調査できるようになり、110 になったら全てのクリーチャーを調査できるようになります。

調査結果は 1 ページ目がステータスと忠誠度、2 ページ目が各抵抗値とベースダメージ、3 ページ目がスキル値、4 ページ目が好物とグループパワー となっています。

忠誠度は以下の言葉で表されています。餌を一回あげれば、必ず 100(Wonderful happy) になりますから、マメに餌をあげるようにしましょう。Confuse 状態で命令失敗すると、野生化します (再びテイムしなければなりません)。

表示	状態	忠誠度
Wild	(野生)	未テイム
Confuse	(混乱している)	～ 9
Extreamly unhappy	(非常に不機嫌)	10 ～ 19
Rather unhappy	(かなり不機嫌)	20 ～ 29
Unhappy	(不機嫌)	30 ～ 39
Content, I suppose	(多分、満足)	40 ～ 49
Content	(満足)	50 ～ 59
Happy	(幸せ)	60 ～ 69
Rather happy	(かなり幸せ)	70 ～ 79
Very happy	(とても幸せ)	80 ～ 89
Extreamly happy	(非常に幸せ)	90 ～ 99

Wonderfully happy	(驚くほど幸せ)	100
-------------------	------------	-----

好物には「fruit and vegetables (果物や野菜)」「meat (生肉、ハムやソーセージも OK)」「fish (生魚)」「hay (干草)」「grain (草)」「crop (穀物や果物)」「eggs (生卵)」「leather (皮)」「metal (金属)」といったものが挙げられます。好物を与えないと、忠誠度は上がりませんので、きちんと把握しておきましょう。

グループパワーとは、共通するグループパワーを持つペットが複数いた時に発揮され、その数に応じて戦闘力 (具体的には与えるダメージ) が上がります。2 体が攻撃すればダメージは +25%、3 体なら +50%、4 体なら +75%、5 体なら +100% されます。意外と馬鹿にならないですよ。

グループパワーには以下のものがあります。タイマーのネタ的には、これらのグループを揃えて鍛えるのも楽しそうです。カッコ内は必要スロット数です。

グループ名	含まれるクリーチャー
Arachnid (蜘蛛系)	giant scorpion(1)、giant spider(1)、frost spider(1)
Feline (猫系)	cat(1)、cougar(1)、panther(1)、snow leopard(1)、hellcat(1)、pradator hellcat leader(2)、pradator hellcat(1)
Canine (犬系)	dog(1)、timber wolf(1)、grey wolf(1)、dire wolf(1)、hell hound(1)、hell hound leader(2)
Bear (熊系)	black bear(1)、polar bear(1)、brown bear(1)、grizzly bear(1)
Ostard (オスタード系)	desert ostard(1)、forrest ostard(1)、frenzied ostard(1)
Bull (牛)	bull(1)
Daemon (悪魔系)	imp(2)、fire steed(2)
Equine (馬類)	fire steed(2)

■「調教」の 2 次スキル

このスキルは「調教」の 2 次スキルとなり、リタイム成功率やペットの命令成功率を上げます。ペットへの命令が失敗すると、その忠誠度が下がります。あまり下がると野生化しますし、街中で野生化すると あっという間にガードに退治されかねないので、注意しましょう。どんな命令をできるかについては「基礎知識」の「発言コマンド (ペット関連)」をご確認下さい。

また、ペットを譲渡してもらうときは、譲渡に必要なスキル値 (タイムに必要なスキル値と同じではありません) に達している必要があります。

■「獣医学」の 2 次スキル

「獣医学」の 2 次スキルでもあります。包帯による回復量アップの他、どちらも 60 以上なら包帯でペットの解毒、どちらも 80 以上なら包帯でペットの蘇生が可能になります。限られた条件を除けば、ペットを蘇生する手段はこれだけ (NPC は蘇生できません) なので、非常に重要と言えますね。

→ UO スキル / 調教使役
